

2. 第1次北杜市総合戦略に係る事業の進捗結果(平成27年度～令和元年度)^(注1)

I 若者応援

【具体的な施策】①子育て支援策等の充実 ②子育て親子の交流の機会の充実 ③郷土を愛する人材育成の推進 ④子育て情報の発信

子育て支援事業(子ども医療費助成の拡大、保育料第2子以降無料化制度の維持等)に積極的に取り組み、子育て世代のニーズに応えた。子育て世代包括支援センターの設置により、相談窓口のワンストップサービス環境の整備や切れ目のない支援を行った。また、原っぱ教育を推進し、小中学校へのICT機器導入や地産地消の関心を高める事業を実施した。

- ・平成27年度のKPIは、34事業中、達成20事業、未達成8事業、未実施事業6事業
- ・平成28年度のKPIは、35事業中、達成19事業、未達成10事業、未実施事業6事業
- ・平成29年度のKPIは、35事業中、達成26事業、未達成6事業、未実施事業3事業
- ・平成30年度のKPIは、35事業中、達成25事業、未達成9事業、未実施事業1事業
- ・令和元年度のKPIは、35事業中、達成16事業、未達成18事業、未実施事業1事業

主なKPI(成果指標)実績について、出生率は増加傾向、出生数は横ばい・微増傾向で推移したが、目標とする合計特殊出生率及び出生数には及ばなかった。また、子育て支援住宅の満足率についても、最終年度で設定している目標値に達することができなかった。

取組実績	指標(大目標)	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	実績(R1)	目標(R1)	実績推移	効果検証
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターによる支援 ・子ども医療費助成制度の拡大 ・助産院・小児科等の開業支援 ・保育料第2子無料化の完全実施 ・妊婦、乳幼児健康診査の実施 ・不妊治療(ここのとり)への支援 ・市立保育園、認定こども園の設置及び運営 ・病児・病後児保育の充実 ・ファミリーサポートセンターの拡大 ・児童・家庭相談窓口の充実 ・甲陵中高一貫教育の推進 ・小中学校におけるICT整備の推進 ・放課後児童クラブの充実 ・放課後子ども教室の充実 ・保育園児・児童への食育推進 	合計特殊出生率 (注2)	1.25	1.18	1.17	1.21	1.35	1.5		<p>KPIのうち、合計特殊出生率は増加傾向であったが、目標値は達成できなかった。また、出生数は横ばい・微増傾向で推移したが、こちらも目標値を達成できなかった。</p> <p>子育て支援センターの設置により、相談体制が充実し、妊娠・出産・子育て期における継続した切れ目のない支援体制が構築できている。</p> <p>医療費助成や保育料第2子無料化により、子育て世代の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>妊婦健診の実施により、出産への不安解消や乳幼児健診による育児支援の体制づくりが図られた。</p> <p>助産院や小児科の開業支援により、出産の場の確保と疾病時の診療体制が整えられた。</p> <p>保育園、認定こども園、病児・病後児保育の実施、ファミリーサポートセンターの実施により、保護者の負担軽減が図られた。</p> <p>放課後児童クラブ等の充実を行ったことにより、放課後の居場所づくりと保護者の負担軽減が図られた。</p>
	出生数 (注2)	234人	201人	205人	203人	213人	267人		
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援住宅入居者が退去後も北杜市に定住できるように、金融機関や設計事務所と連携して、住宅ローンや子育てにやさしい設計等についてのセミナーを開催 ・入居者向けに市有地売却のお知らせをしたり、入居者の意見を収集するためのアンケートを実施 	子育て支援住宅入居者の満足度	-	-	-	-	68%	90%		<p>KPIは、単年度測定はしておらず、最終年度における実績値で、アンケートの提出が得られた44世帯のうち、30世帯が満足であるという状況となり、目標値を達成できなかった。</p> <p>退去後の定住に向け、金融機関、設計事務所に依頼し、住宅ローンや子育てに優しいセミナーを開催し、定住に向けた不安の解消や情報提供ができた。</p> <p>一方で、住宅施設や土地や建物の情報が少なかった点において、情報提供が十分でなかったことなどから、満足度は90%に達することができなかった。</p>

II 住まいづくり

【具体的な施策】①周辺自治体との連携 ②ニーズに合った住宅の整備 ③住宅取得等の支援制度の充実 ④空き家の利活用促進 ⑤住まいに関する情報発信
 ハヶ岳定住自立圏共生ビジョンに係る事業の推進、子育て支援住宅及び就業促進住宅の整備、空き家バンク制度の活用により、定住促進につなげることができた。移住定住相談窓口を長坂総合支所へ移転し、相談スペースの拡充や電車でも気軽に訪問できる体制を整え、利便性の向上を図るとともに首都圏での移住定住セミナーや相談会を開催し、移住希望者向けに情報発信を行った。

- ・平成27年度のKPIは、12事業中、達成9事業、未達成3事業、未実施事業0事業
- ・平成28年度のKPIは、12事業中、達成12事業、未達成0事業、未実施事業0事業
- ・平成29年度のKPIは、13事業中、達成12事業、未達成0事業、未実施事業1事業
- ・平成30年度のKPIは、13事業中、達成11事業、未達成2事業、未実施事業0事業
- ・令和元年度のKPIは、13事業中、達成7事業、未達成6事業、未実施事業0事業

主なKPI(成果指標)実績について、転入者数・転出者数は目標値に達することができなかった。また、空き家バンク成約数も過年度の実績数は増加し、達成可能な傾向にあったが、最終年度で減少となり、目標値に達することができなかった。なお、子育て支援住宅入居者の退去後定住率については、最終年度で設定している目標値に達することができた。

取組実績	指標(大目標)	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	実績(R1)	目標(R1)	実績推移	効果検証
<ul style="list-style-type: none"> ・単身者やファミリーを対象とした市営住宅(就業促進住宅)を整備 ・就労支援賃貸住宅等建設促進事業費補助金を創設し、設置者に補助 ・未利用市有地の有効活用 ・移住定住相談窓口での受付やポータルサイト開設による移住情報の発信 ・移住定住相談会等の実施 	転入者数・転出者数	75人増	101人増	227人増	4人減	23人増	410人増		KPIは、増加傾向にあったが、平成30年度数値において減少に転じ、令和元年度も大幅に増加することはなく目標値を達成することができなかった。 就業促進住宅の整備や民間賃貸住宅への補助による住宅の整備により転入者が確保されている。また、移住相談窓口での相談や移住相談会の実施により、累計で263世帯、598人の移住につながった。
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの現地見学会の開催や制度の周知を図るため、納税通知書等での周知を実施 ・平成27年10月に空き家バンク清掃費補助金を創設し、空き家バンクの登録に際して、空き家内にある残置物の処分に係る清掃費や賃貸物件に係る改修費を補助 	空き家バンク成約数	20戸	23戸	25戸	32戸	19戸	20戸		KPIは、増加傾向で、平成30年度においては目標値を上回っていたが、最終年度で減少に転じ、目標値を達成できなかった。 納税通知書での制度周知により、県外の所有者からの問い合わせが多く、平成27年度から170件の物件が登録され、平成27年度からは、119件の成約に至った。 清掃費補助金は、所有者の負担軽減となり登録に向けたハードルが下がり、登録件数の増加につながった。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代・世帯を対象し、子育てに優しい住まいと環境を備えた「子育て支援住宅」を市内に3棟を整備 ・子育て世代の移住定住を促進するため、子育て世代マイホーム補助金を創設し、市内に家を新築、購入した場合または、リフォームした場合に補助金を交付 	子育て支援住宅入居者の退去後定住率	-	-	-	-	100%	100%		KPIは、単年度測定はしておらず、最終年度における実績値で目標値を達成した。 最終年度の累計では、子育て支援住宅からの退去世帯は10世帯で、その全ての世帯が市内に定住した。 マイホーム補助金については、これまでの計画書の提出件数は692件で、補助金交付件数は、598件となり、市内への子育て世代の定住促進や固定資産税の税収増が見込まれる。

Ⅲ 雇用創出

【具体的な施策】①地域雇用の推進 ②企業誘致等の推進 ③企業の競争力強化支援 ④「安全安心日本の台所」の推進 ⑤産業振興に関する情報発信
 市雇用創造協議会やほくとハッピーワークとの連携により、市内企業の人材不足の解消と雇用の創出を図った。また、市フードバレー協議会を設立し、地産地消事業を推進した。企業への補助・支援により市内の中小企業者や創業者に対する新たな事業展開や販路拡大に係る事業を支援するとともに、担い手農業者への支援など求職者支援や人材育成の取組を行った。女性の就業を促進するため、就活女子会を開催し、市内企業の人材不足の解消と求職者の就業促進を図った。

- ・平成27年度のKPIは、11事業中、達成10事業、未達成1事業、未実施事業0事業
- ・平成28年度のKPIは、13事業中、達成11事業、未達成1事業、未実施事業1事業
- ・平成29年度のKPIは、13事業中、達成13事業、未達成0事業、未実施事業0事業
- ・平成30年度のKPIは、13事業中、達成12事業、未達成1事業、未実施事業0事業
- ・令和元年度のKPIは、13事業中、達成10事業、未達成3事業、未実施事業0事業

主なKPI(成果指標)実績について、合併時からの企業誘致数は増加傾向にあり、目標値に達することができた。また、新規就農者数も、年度ごとの実績数が増加しており、こちらも目標値に達することができた。なお、市内事業所数は、平成28年経済センサス活動調査の事業所数の確報値が2,550となっており、目標値に達することができている。

取組実績	指標(大目標)	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	実績(R1)	目標(R1)	実績推移	効果検証														
<ul style="list-style-type: none"> ・北杜市雇用創造協議会において、企業向け人材育成セミナー、求職者向け人材育成セミナーを実施 ・企業の人材不足解消と就業促進のため、合同就職ガイダンス及び就活女子会を実施 ・産業立地助成金の交付 ・新規創業者向けの相談や商品開発・販路拡大に対する支援の実施 	市内事業所数(注3)	2,504事業所	2,550事業所	2,550事業所	2,550事業所	2,550事業所	2,550事業所	<p>市内事業所数(事業所)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R1(KPI)</td></tr> <tr><th>実績</th><td>2504</td><td>2550</td><td>2550</td><td>2550</td><td>2550</td><td>2550</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)	実績	2504	2550	2550	2550	2550	2550	KPIは、経済センサス活動調査数値(確報値)は、2,550で目標値を達成した。 雇用創造協議会事業の実施や合同就職ガイダンス、また、就活女子会の実施により雇用が創出されている。 市内で新たに創業する企業等に対する支援として、産業立地助成金による支援を2社実施し、雇用の創出や固定資産税の増収が見込まれる。 商工会等による相談体制が構築された。
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)																	
実績	2504	2550	2550	2550	2550	2550																	
<ul style="list-style-type: none"> ・北杜市企業等振興支援条例に基づく指定事業所として企業型農業生産法人を5社を指定し、新規参入事業を支援することにより、新たな雇用を創出 ・立地企業等に対し、事業用地や空き工場等の情報提供を行い、基礎調査事業を実施 	合併時からの企業誘致累計数	28社	29社	33社	33社	33社	31社	<p>市合併時からの企業誘致累計数(事業所)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R1(KPI)</td></tr> <tr><th>実績</th><td>28</td><td>29</td><td>33</td><td>33</td><td>33</td><td>31</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)	実績	28	29	33	33	33	31	KPIは、平成29年度から目標値を達成した。 産業立地助成金や立地企業に対する優遇措置の活用により、企業誘致や規模拡大による雇用の創出が図られている。 また、企業誘致に伴う固定資産税の増収が見込まれる。
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)																	
実績	28	29	33	33	33	31																	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業型農業生産法人の誘致に向けて、参入希望企業への聞き取りや候補圃場地の案内、敷地造成等の基盤整備事業や補助金の支援。また、新規就農を希望する農業研修生への相談や青年就農計画策定に対しての相談や面談を実施 ・農業次世代人材投資資金を交付 	新規就農者数	8人	21人	24人	27人	34人	25人	<p>新規就農者累計数(人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R1(KPI)</td></tr> <tr><th>実績</th><td>8</td><td>21</td><td>24</td><td>27</td><td>34</td><td>25</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)	実績	8	21	24	27	34	25	KPIは、増加傾向のまま、平成30年度から目標値を達成した。 企業型農業生産法人の参入により、雇用の創出や地域産業の活性化が図られた。 市内への就農に対する相談体制の構築により、新規就農者の就農に係る課題解決や不安を軽減できている。 また、給付金の支給により、就農意欲の喚起と定着につながっている。
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)																	
実績	8	21	24	27	34	25																	

IV 交流と観光

【具体的な施策】①魅力ある観光まちづくりの推進 ②大学等との連携 ③体験機会の創出 ④交流機会の創出 ⑤交流・観光に関する情報発信
 観光客の誘客やインバウンド対策として、八ヶ岳観光圏事業との連携や観光地・道の駅の環境整備、多言語パンフレットの作成等により、交流人口を増やす取組を行った。移住お試しツアーの開催や移住定住お試し住宅の利用体験を提供し、市外からの移住につながった。東京オリンピックの事前合宿地として、フランスのビーチバレー競技とBMX競技を誘致するとともに、基金事業の活用により市民に芸術鑑賞・スポーツ振興の機会を提供した。

- ・平成27年度のKPIは、22事業中、達成12事業、未達成10事業、未実施事業0事業
- ・平成28年度のKPIは、21事業中、達成17事業、未達成3事業、未実施事業1事業
- ・平成29年度のKPIは、20事業中、達成10事業、未達成9事業、未実施事業1事業
- ・平成30年度のKPIは、20事業中、達成18事業、未達成2事業、未実施事業0事業
- ・令和元年度のKPIは、20事業中、達成4事業、未達成16事業、未実施事業0事業

主なKPI(成果指標)実績については、観光入込客数及び宿泊者数は増加傾向にあったが、最終年度で台風など天候による影響を受けたことなどから目標値に達することができなかった。農産物直売所来場者数は、施設整備等の効果から増加し、目標値に達することができた。婚姻数は、横ばい減少傾向のまま最終年度を迎え、目標値に達することができなかった。

取組実績	指標(大目標)	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	実績(R1)	目標(R1)	実績推移	効果検証
<ul style="list-style-type: none"> ・八ヶ岳観光圏支援事業によりインバウンドを中心とした受入体制の整備 ・南アルプスユネスコエコパーク事業による環境整備事業や小学生に対する環境教育事業の実施 ・「水の山宣言」による「水の山」北杜市のブランドのプロモーションの実施 ・観光施設(遊歩道や公衆トイレ)整備 	観光入込客数(注2)	373万人	402万人	398万人	446万人	367万人	451万人	<p>観光入込客数(万人)</p>	KPIは、増加傾向であったが、最終年度に台風など天候による影響を受け、目標値を達成できなかった。 八ヶ岳観光圏支援事業については、DMO法人の形成・確立によりインバウンドを中心とした戦略的な誘客推進と受入体制が構築された。 ユネスコエコパーク事業については、市民への認知度が高まり、子ども達に愛郷心が培われた。 遊歩道や公衆トイレの整備により、安全で高齢者や子育て世代に優しい観光地づくりが促進された。
<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の観光客を誘致するため、モニターツアーや北杜市版「指差し会話アプリ」の開設などを実施 ・多言語での動画配信やwebパンフレット・紙媒体パンフレットを作成 ・市民が観光客をおもてなしできるガイドブックの作成や地域づくりマネージャーによる研修等を実施 	宿泊者数(注2)	96万人	88万人	84万人	95万人	85万人	103万人	<p>宿泊者数(万人)</p>	KPIは、微増となっていたが、最終年度で台風など天候による影響を受け、目標値を達成できなかった。 インバウンド向けの観光情報の集約化とwebサイトを使った情報発信により外国人観光客への北杜市の周知が図られた。特に、北杜市版「指差しアプリ」のダウンロード数は、令和元年度末現在で4,314件となっており関心が高まっている。 また、受入体制として、観光事業者への研修によりレベルアップが図ることができた。
市内にある3つの道の駅の環境整備として、①道の駅こぶちさわ→駐車場整備、直売所施設新築工事②道の駅南きよさと→駐車場白線工事やトイレ改修工事、デッキ塗装工事等③道の駅はくしゅう→駐車場出入口新設工事を実施	農産物直売所来場者数	88万人	91万人	91万人	93万人	95万人	93万人	<p>農産物直売所来場者数(万人)</p>	KPIは、年々増加しており、目標値を達成した。 昨今の道の駅ブームにより立ち寄り客が増える中、それぞれの道の駅において、駐車場の拡張や直売施設の整備により、利用者の利便性と集客力のアップに繋がった。 これに伴い、農産物・特産品の販売が促進され、生産者の生産意欲と所得の向上が期待される。
<ul style="list-style-type: none"> ・北杜市保健センター内に出会いサポートセンターを常設し、独身者向けや結婚相談員向けセミナーを開催 ・平成29年度にポータルサイトを立ち上げ、登録手続きの簡略化やイベント内容の告知を幅広く紹介し、さらには、SNSツールのLINE@を活用した情報提供の実施 	婚姻数	218件	183件	162件	166件	160件	170件	<p>婚姻数(件)</p>	KPIは、横ばい減少傾向のまま目標値を達成できなかった。 出会いサポートセンターを常設し結婚相談員によるお見合いを実施しているが、お見合い件数は、嗜好やタイミング等により減少している。ただ、結婚相談員による地道なマッチングなどにより、計画期間中22組が成婚している。 また、ポータルサイトの開設やSNSツールの活用により、登録の促進が図られた。

V 生活環境づくり

【具体的な施策】①住みよい住環境づくりの推進 ②環境にやさしいまちづくり ③生涯学習の推進 ④健幸長寿の推進 ⑤地域づくりは人づくり
 防災備蓄品の整備による防災体制の強化、特定空き家対策、通学路の安全対策や生活道路の整備のほか、地域公共交通(市民バス)において、地域住民のニーズに応じた市民バスの運行体系の再構築を行い、暮らしやすいまちづくりのための事業を行った。再生可能エネルギー設備設置費補助金の補助対象機器の拡充を図り、交通の利便性向上や環境にやさしいまちづくりに取り組んだ。介護予防講演会や一流選手を招いたスポーツ教室の開催など生涯学習の推進のための事業を行った。
 ・平成27年度のKPIは、13事業中、達成8事業、未達成2事業、未実施事業3事業
 ・平成28年度のKPIは、11事業中、達成9事業、未達成1事業、未実施事業1事業
 ・平成29年度のKPIは、15事業中、達成9事業、未達成2事業、未実施事業4事業
 ・平成30年度のKPIは、15事業中、達成9事業、未達成6事業、未実施事業0事業
 ・令和元年度のKPIは、15事業中、達成7事業、未達成8事業、未実施事業0事業
 主なKPI(成果指標)実績については、公共交通の利用者数は、増加傾向であったが、目標には及ばなかった。また、市に住みたい人の割合については、最終年度でのKPIで、目標値を達することができた。

取組実績	指標(大目標)	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	実績(R1)	目標(R1)	実績推移	効果検証														
<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全対策として、関係機関による通学路合同点検の実施や歩道未整備や幅員の狭い路線整備 高規格幹線道路及び道路橋梁などのインフラの整備や橋梁の点検整備 地域公共交通網形成計画の策定に伴うワークショップの開催や地域ごとの公共交通運営委員会を開催 	公共交通の利用者数	274万人	271万人	274万人	278万人	281万人	289万人	<p>公共交通利用者数(万人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R1(KPI)</td></tr> <tr><th>利用者数(万人)</th><td>274</td><td>271</td><td>274</td><td>278</td><td>281</td><td>289</td></tr> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)	利用者数(万人)	274	271	274	278	281	289	<p>KPIは、増加傾向であったが、目標値の9割にとどまり、達成できなかった。</p> <p>通学路の危険箇所に対する道路標示等を実施し、児童生徒・高齢者等の安全性が確保された。</p> <p>中部横断道の建設促進に向けた取組の推進と道路橋梁の点検整備による生活インフラが整備され、地域住民の生活環境が向上した。</p> <p>地域公共交通では、地域住民のニーズに応じた市民バスの運行体系を整備し、暮らしやすいまちづくりに取り組んだ。</p>
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R1(KPI)																	
利用者数(万人)	274	271	274	278	281	289																	
<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄品の整備、自主防災組織の拡充、女性消防隊の発足 再生可能エネルギーの活用による避難所へのLED街路灯の設置や補助 健幸長寿社会創造プロジェクト事業による一般介護予防事業の実施 基金事業を活用した一流のスポーツ選手を招いた教室の実施 等 	北杜市に住みたい人の割合	-	-	-	-	83%	80%	<p>KPIは、単年度測定はしておらず、最終年度に実施した市民アンケートの結果により、目標値を達成した。</p> <p>防災備蓄品の整備や自主防災組織の拡充のほか、再生可能エネルギーを活用した街路灯の整備により、災害に強い街づくりと安全で安心な街づくりが構築された。</p> <p>早い段階からの一般介護予防事業の参加により健康に対する啓発や各種スポーツ教室により体力づくりと市民の交流が図られた。</p>															

● 北杜市人口推移

年度別人口統計 (住民基本台帳による) (注4)	年度	人口	増減	内容
	H27	48,297	-	人口推移は、平成27年度当初から減少傾向にあり、平成27年度当初人口に対する令和2年度当初人口は、1,876人の減少となっている。 また、自然増減が、毎年400人台の減少で推移しているのに対し、社会増減は、ばらつきがあるものの平成30年度を除いては転入が転出を上回っている状況となっている。
	H28	47,927	▲ 370	
	H29	47,558	▲ 369	
	H30	47,367	▲ 191	
	R1	46,879	▲ 488	
	R2	46,421	▲ 458	

自然増減	年度	人口		増減	内容
		出生	死亡		
	H27	217	662	▲ 445	出生数は、毎年200人前後で推移し、死亡は、毎年600人台後半で推移している。 少子高齢化の影響を受けて、毎年、400人台の人数が自然増減により減少している状況となっている。 計画期間中は、死亡が出生を上回っており、自然増減は2,298人の減であった。
	H28	206	676	▲ 470	
	H29	201	619	▲ 418	
	H30	214	698	▲ 484	
R1	202	683	▲ 481		

社会増減内訳	年度	人口		増減	内容
		転入	転出		
	H27	1,784	1,709	75	転入については、平成27年度から3年間は1,700人～1,800人台で推移したところ、平成30年度には1,595人と減少したものの、令和元年度では再び増加に転じ、1,658人となった。 転出については、平成27年度は、1,700人台であったが、近年は、1,600人前後で推移している。 平成30年度を除いては、転入が転出を上回っており、計画期間中の社会増減は422人の増であった。
	H28	1,712	1,611	101	
	H29	1,812	1,585	227	
	H30	1,595	1,599	▲ 4	
R1	1,658	1,635	23		

注1: 計画期間の最終年度である令和元年度のKPIを勘案し、達成・未達成を整理した。

注2: 合計特殊出生率、出生数、観光入込客数及び宿泊者数については、令和元年度の数値を記載した。

注3: 事業所数については、経済センサス活動調査の関係で平成28年度の数値を記載した。

注4: 人口は、各年度の4月1日現在の数値。自然増減及び社会増減については、住民基本台帳をもとに、各年度の異動数について算出した。